

養成校の教育目標と臨地実習の要望や意見

◎小丸 檢造¹⁾
学校法人 九州総合学院 九州医学技術専門学校¹⁾

【はじめに】

臨床検査技師養成校の教育目標は、単に専門知識や技術を修得させるだけでなく、医療人としての倫理観や人間性を育むことに重点を置いています。

そして臨地実習では、その教育目標を達成するため、実践的な能力や多職種連携を学ぶことを目的にしています。

【九医技の教育目標と校訓】（本校 HP より）

1. いたわりと思いやりの心をもった人間性豊かな医療人の育成
2. 専門的知識と技能を持った医療人の育成
3. コミュニケーション能力に優れた医療人の育成

校訓 「努力せざる者は 其の任に堪えず」 初代校長 吉田直人

「苦労を避け、努力しない者には、その志を果たす資格がない」

【臨地実習施設への要望】

1. 医療機器の見学や操作と感染管理指導（各種機器の操作研修、感染対策や検体の取り扱い等）
2. 多様な業務経験の提供（各分野での業務指導や特殊検査の見学（遺伝子検査やTDM等））
3. 学生の学びの確認と総合評価（各分野での評価と実習期間中のテーマ研究発表会 等）
4. 受け入れ施設の増加と臨地実習指導者増員のお願い（日臨技は各分野に指導者配置を提言）

【臨地実習施設からのご意見（抜粋）】

1. 挨拶や患者接遇等の礼儀がしっかりできること
2. 検査業務を積極的に学ぶ姿勢をもつこと
3. 基本知識以外にも感染対策や安全管理等が理解できていること 等

【臨地実習から学んでほしいこと】

臨床検査技師は、単に検査を行う技術者ではなく患者の命と健康を支える医療従事者である。ゆえに、医療人として患者に寄り添う気持ちやチーム医療に貢献する姿勢を学んでほしい。

【卒後に目指してほしい臨床検査技師像】

1. 患者中心の医療を考える技師（接遇や倫理観を持ち検体の背景にいる患者を意識する）
2. 高い専門性と技術力を持つ技師（学会や研修会に参加し、各種の認定資格を目指す）
3. チーム医療を理解し協調性のある技師（多職種連携を意識しチーム医療に貢献する）

連絡先：095-856-2120（代表）